

## J S Q C 規格の開発・制定に関する提案書

規格の名称	方針管理の指針
規格の種類	○ 1. 規格 (JSQC-Std)      2. テクニカルレポート (JSQC-TR)
規格の適用範囲	総合的品質管理 (TQM) の一貫として、組織において行うことが推奨される 方針管理の方法
規格の利用者	TQMを実践する組織、およびTQMを評価・診断する組織
制定のねらい	<p>TQMの主要な活動要素のうち、日常管理については、既に、JSQC-Std 32-001:2013「日常管理の指針」が制定されている。また、その英訳版が発行され、JIS化も進んでいる。さらに、将来的にはISO規格として提案することが期待されている。</p> <p>他方、日常管理と対をなす方針管理については、「JIS Q 9023:2003 マネジメントシステムのパフォーマンス改善－方針の策定、展開及び運営管理の指針」が制定されている。しかし、その内容を見ると、JISという制約もあり、基本的な考え方が解説されていなかったり、具体的な進め方に関する推奨事項が十分に記されていないなど、利用者のニーズを満たすものになっていない。また、この10年間に様々な実践や議論（特に海外組織におけるもの）を通して得られた方針管理に関する知見が反映できていない。</p> <p>本規格は、JIS Q 9023をベースにししながら、最新の知見を加え、方針管理に関わる重要な概念および方法に関して、学会として統一的な見解を示し、TQMのさらなる普及・発展のための基盤を提供することを目的とする。なお、本規格はJIS Q 9023の次期改定へのインプットとする。</p>
制定によって期待される効果	<p>(1) 方針管理に関する概念および方法がわかりやすいものとなり、TQMの普及が容易になる。</p> <p>(2) 従来にない分野・問題へTQMを適用する上で必要となる新たな方法論の研究・議論を行うための基盤を構築できる。</p> <p>(3) JISの改訂に学会として貢献できる。</p>
制定によって影響を受けると思われる組織・人	<p>(1) TQMを実践している組織</p> <p>(2) TQMの評価・診断を行っている組織</p> <p>(3) ISO 9000シリーズの制定、それを用いた認証制度を運用・活用している組織</p>
制定までのおおよそのスケジュール	<p>(1) 2015年2～10月末      作業原案の作成</p> <p>(2) 2015年11月～2016年2月      審議委員会による審議とパブリックコメント募集</p> <p>(3) 2016年3月      規格の発行</p>
原案作成に当たって参考となる資料	<p>(1) JIS Q 9023:2003 マネジメントシステムのパフォーマンス改善－方針の策定、展開及び運営管理の指針</p> <p>(2) 日本品質管理学会標準委員会編、「TQMの基本」、日科技連出版社、2006</p>
提案委員会・研究会・部会名	日本品質管理学会 標準委員会 「方針管理の指針」原案作成WGを設ける。